

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
総合実習 2（1）											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60(120)	単位	2(4)
担当教員	山本 佳子			実務経験	有	職種	グラフィックデザイナー				
担当教員紹介											
デザイン事務所に約10年所属。主にスポーツメーカーの販促物等の企画、制作をメインで担当するなど、様々なグラフィックデザインの経験を積む。											
授業概要											
※この授業は、120時間を60時間づつ2つの実習に分けて実施します。 この授業では、グラフィックデザインをするにあたり必要なスキルの基礎を養うことを目標とする。課題制作を通して発想、制作相 談、検証、発表、評価を行う。主体的に授業に参加することで自律した、デザイナーとして制作側の意識を持ち、集中した制作と円滑な コミュニケーションができるようになることを目指す。											
到達目標											
グラフィックデザインの初歩のスキルとして以下を目標とする。1教員から得た情報を理解し、作品制作に臨むこと。2制作にあたって世間一般のトレンドやニーズをリサーチし、自分の作品に落とし込むこと。3商業におけるグラフィックデザインの制作過程で、レイアウト、文字構成力、画像加工のスキル(Adobeイラストレーター・フォトショップを使用したパソコン操作など)を学ぶこと。4自分の制作物について明確に説明、プレゼンテーションでできること。											
授業方法											
課題のオリエンテーションを行い、実際にあるパッケージやフライヤーを観察、取材を行う。 実際のパッケージをトレースしながら、デザインに必要な要素なども学んでいく。 その後、アイデアスケッチを持参し、いくつかのアイデアを選定して制作へ進む。 制作時間を取り最終的には印刷した紙を組み立て、完成した制作物をプレゼンテーションして評価する。											
成績評価方法											
課題完成度	70%	提出課題の完成度を評価する									
プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
より良い作品制作に必要な教員とのコミュニケーションと制作過程を重視する。使用する道具を準備し忘れない。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
既存のダイレクトメール 既存のパッケージ 既存のフライヤーなど											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス、課題スケジュール/授業の流れを把握し理解することができる										
第2回	レイアウトデザイン1/平面デザイン物における視覚伝達の役割を理解することができる										
第3回	レイアウトデザイン2/トリミング、レイアウト感覚を習得する										
第4回	レイアウトデザイン3/制作物を完成させ提出、プレゼンテーションする										
第5回	パッケージデザイン1/制作物の構造を理解し、その素材のデザイン性を探求する										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
総合実習 2 (1)	
第6回	パッケージデザイン2/既存の製品をトレースしながら、パッケージに必要な要素を理解していく
第7回	パッケージデザイン3/販売を想定し、適切な要素や情報を追加していく
第8回	パッケージデザイン4/制作物を完成させ提出、プレゼンテーションする
第9回	パッケージデザイン5/新たな課題を制作。前回の課題を踏まえ、必要要素を自分で発見する過程を持つ
第10回	パッケージデザイン6/課題でアイデアスケッチを制作し、1つ以上を選定して制作を進める
第11回	パッケージデザイン7/パッケージデザインにおける視覚伝達の効果、役割を学ぶ
第12回	パッケージデザイン8/制作の過程で修正を行い、制作物の完成度を高める
第13回	販促ツールのデザイン1/販促ツールの役割を学ぶ、用途や目的に応じた視覚伝達の方法を学ぶ。
第14回	販促ツールのデザイン1/制作の過程で修正を行い、制作物の完成度を高める
第15回	販促ツールのデザイン2/制作物を完成させ提出、プレゼンテーションをする

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
総合実習 2 (2)											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60 (120)	単位	2 (4)
担当教員	川口 貴弘			実務経験	有	職種	グラフィックデザイナー				
担当教員紹介											
アートディレクター&グラフィックデザイナー。美術大学、芸術大学院を卒業。MF A (Master of Fine Arts) 修士号を取得。実務経験 2 0 年以上。デザイン思考とアート思考を用いて、DesignとArtの領域を横断しながら、様々な問題の解決に取り組んでいる。											
授業概要											
※この授業は、120時間を60時間づつ2つの実習に分けて実施します。 情報デザインの制作プロセスと視覚化していくための技術を学ぶ。P Cを用いたグラフィックデザイン全般のデータ作業の基礎を学ぶと共に、データ制作のノウハウ、目的と用途に応じて求められている情報を整理した上で、教員と学生間でのコミュニケーションをとりながら作業を行なっていくます。											
到達目標											
デザイン科共通のスキルとして以下のことを目標としている。Adobe Illustrator、Photoshopを使用して、レイアウト作業に必要な初歩的なアプリケーションの操作方法を理解できる。グラフィックデザインの基礎的な印刷知識・画像編集の知識・技術の理解を深めることができる。課題内容を理解し、自分で発案・提案を行い、制作した「課題」を「言葉」で伝えられるようになることができる。											
授業方法											
グラフィックデザイン主体の解説になるが、一般的な情報～最先端の実務での実情を踏まえたワークフローを解説し、実生活や社会での応用方法を伝える。また、課題ごとに取り組みたい「新しい観点」なども学生と教師と話し合いを行い、課題に活かせる対話をし実践して、デザインの、ものづくりの奥深さや楽しさを感じ取れるようになる。											
成績評価方法											
プレゼンテーション：3 0 % 総合的に評価する 課題完成度：4 0 % 総合的に評価する 平常点：3 0 % 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業内で掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	文字と情報の編集1 情報の視覚化について解説										
第2回	文字と情報の編集2 解説とアイディア検討										
第3回	文字と情報の編集3 デザイン制作										
第4回	文字と情報の編集4 講評										
第5回	文字と情報の編集5 解説とアイディア検討										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
総合実習 2 (2)	
第6回	文字と情報の編集6 デザイン制作
第7回	文字と情報の編集7 講評
第8回	文字の展開1 情報デザインアイデア検討
第9回	文字の展開2 情報デザイン制作
第10回	文字の展開3 情報デザイン制作
第11回	文字の展開4 複数メディアへの展開
第12回	文字の展開5 複数メディアへの展開
第13回	文字の展開6 講評
第14回	文字の展開7 解説
第15回	まとめ グラフィックデザインとコミュニケーションについて／プレゼンテーション 講評